

わちエダより

題字 吉田蒼月

Vol.35

平成26年(2014年)
1月発行

特集

Feature Articles

地域に先駆けて
先進の治療を提供する
「脊椎・脊髄疾患センター」誕生

脊椎・脊髄疾患センター
のご案内

よくわかる! 病気のはなし
高齢者の肺炎
おしえて、医療のコトバ
医療の?にお答えします
「ご存知ですか? 健康寿命」

旬菜健美
旬の食材を使ってつくる
健康レシピ「真鯛の香草オリーブオイル焼き」

病院増築工事にともなうお知らせ

地域に先駆けて先進の治療を提供する 「脊椎・脊髄疾患センター」誕生

からだの痛みやしびれなどで日常生活に大きな支障をきたす、脊椎・脊髄疾患。全国でも脊椎・脊髄疾患を専門とする医療機関が少ない中、当院は地域に先駆けて治療の拠点となる「脊椎・脊髄疾患センター」を開設しました。今回の特集では、脊椎・脊髄疾患の基礎知識や当センターの特色についてご紹介します。

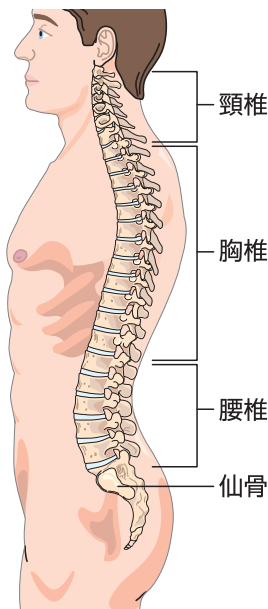
基礎知識

1

痛みやしびれに襲われる背骨の病気

脊椎・脊髄疾患とは、簡単に言えば、背骨や中を通る神経の病気です。頸椎、胸椎、腰椎など首から腰までの幅広い部位にわたり、狭窄症や椎間板などが変化する変性疾患のほか、脊髄の腫瘍や外傷、先天的な病気など、さまざまな疾患があります。

疾患によって異なりますが、主な症状としては、手足のしびれや痛み、腰痛、歩行障害をきたします。高齢になるとともに、脊椎・脊髄疾患が増える傾向にあり、適切な治療の必要性が高まっています。



センターで治療を行う主な疾患

■頸椎疾患

1. 頸椎椎間板ヘルニア
2. 頸椎後縦靱帯骨化症
3. 頸部脊柱管狭窄症
4. 頸椎・頸髄腫瘍

■胸椎疾患

1. 胸椎黄色靱帯骨化症
2. 胸椎・胸髄腫瘍

■腰椎疾患

1. 腰椎椎間板ヘルニア
2. 腰部脊柱管狭窄症
3. 腰椎すべり症
4. 腰椎・仙骨部腫瘍

基礎知識

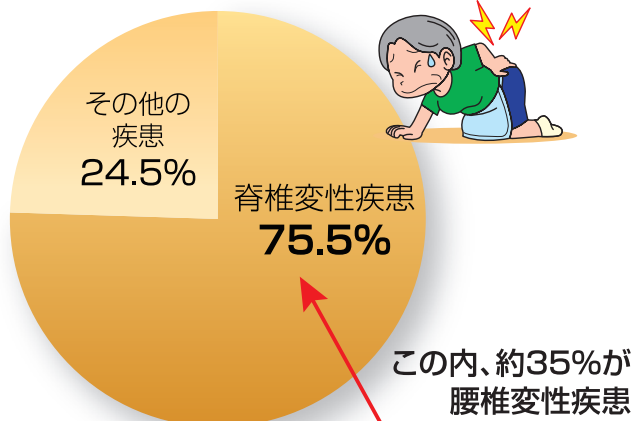
2

手術治療を選択する患者さんが急増

脊椎・脊髄疾患の治療は、整形外科と脳神経外科で行われています。近年は、生活の質の向上を求めて、高齢者の方が手術を希望する症例が急増。脳神経外科医による顕微鏡を用いた脊椎・脊髄手術が増えています。

手術の中で特に多いのが、年齢を重ねるにつれ椎間板や脊椎が変化してくる脊椎変性疾患の手術で、全脊椎手術数の75.5%を占めています。その中でも多いのが腰椎変性疾患で、高齢化にともない今後も増加が予想されています。

■脊椎・脊髄手術の内訳



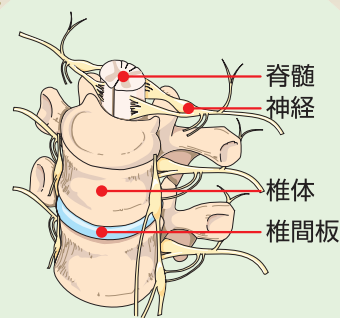
日本脊髄外科学会「脳神経外科施設における脊椎（脊髄）手術に関する全国統計調査報告」より

主な脊椎・脊髄疾患

痛みやしびれ、歩行障害など、 気になる症状が出たら、脊椎・脊髄疾患センターへ

脊椎・脊髄疾患センターでは、さまざまな脊椎・脊髄疾患に対応しています。

ここでは気になる症状と疑われる疾患についてご紹介します。



こんな症状に要注意！

- 片側の肩や手が激しく痛む
- 両手のしびれ、両手を使った細かい動作がしにくい
- 両足が足先からしびれてきた
- 歩行がなんとなく不自由になる など

「頸椎椎間板ヘルニア」の疑い

首にある頸椎という骨の間には、椎間板と呼ばれる組織があります。椎間板は上下の頸椎をつなぐ働きをし、通常はクッションのように弾力がありますが、組織が壊れて後方や後側方に飛び出すと、脊髄や神経根を圧迫するため、さまざまな症状が出てきます。

こんな症状に要注意！

- 片側の手や腕にしびれや鈍痛がある
- 両手のしびれ、両手を使った細かい動作がしにくい
- 軽いケガで、急に四肢が麻痺したようになった
- 両足が足先からしびれてきた など

「頸椎後縦靱帯骨化症」の疑い

7つある頸椎を連結する靱帯組織の中で、頸椎を縦につなぐ後縦靱帯が通常の何倍もの厚さになり、骨のように硬くなって、徐々に脊髄を圧迫してくる病気です。ゆっくり症状が表れ、糖尿病を合併しやすいのも特徴です。欧米人に比べ日本人に多いことでも知られます。

こんな症状に要注意！

- 背中や足に痛みがある
- 長く歩けない（かんけつせいはいこう間歇性跛行）
- 足にしびれやだるさを感じる など

「腰部脊柱管狭窄症」の疑い

加齢とともに、腰のところにある腰椎という骨やその間の椎間板は、徐々に変形していきます。また、靱帯が厚くなり、石灰化することもあります。こうした変化が強くなると、5つの腰椎が縦に並んでできている脊柱管が狭くなり、その中にある神経が圧迫されます。

こんな症状に要注意！

- 長時間の立ち仕事や重労働の後、腰が痛い
- 腰を反らせたり横に曲げたりすると、腰が痛い
- 長く歩けない（かんけつせいはいこう間歇性跛行）
- 足の痛みやしびれがある など

「腰椎すべり症」の疑い

腰椎すべり症は、分離すべり症、変性すべり症などに分類できます。腰椎の骨の一部が分離し、椎体という部分が前にずれるのが分離すべり症、椎間板が変化し不安定になることでずれるのが変性すべり症です。変性すべり症は、腰部脊柱管狭窄症の原因となっています。

かんけつせいはいこう
間歇性跛行とは……
歩いたり休んだりする状態を
繰り返すこと。



脳から末梢神経までをカバーする診断力で 適切な治療をスムーズに提供します

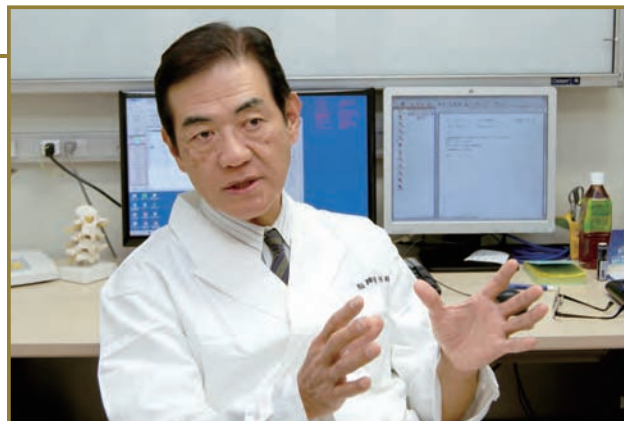
脊椎・脊髄疾患センターでは、脊椎・脊髄外科において全国トップレベルの指導医が、診断・治療を担当。地域の皆さんの医療ニーズに応えていきます。

特色 1

県下でも数少ない指導医が的確に診断

治療方針

当センターでは、日本脊髄外科学会の指導医である脳神経外科医が、診断・治療を行っています。脊椎・脊髄疾患は、症状が似ていても原因が異なることが多く、脳神経も含め、どの部位が原因なのかを正しく診断することが重要です。そのため、脳から脊椎・脊髄、末梢神経まで、神経疾患全体を診ることができる医師が、症状・検査からの的確に病気を診断。地域の患者さんに、いち早く適切な治療を提供します。



安全性が高く、成績も良い顕微鏡手術を提供

診断によって手術が必要とされた患者さんには、安全性の高い顕微鏡手術を中心に治療を提供。糖尿病や高血圧など他の疾患を抱えた高齢の患者さんや、人工透析を受けている患者さんなどリスクのある症例にも、高度な治療技術で対応します。

また、保存治療においては、地域のクリニックと連携し、治療をサポートしていきます。

特色 2

治療内容

特色 3

院内連携により、即日の診断と万全の管理を実現

診療体制

脊椎・脊髄疾患の診断にはMRIなどの画像診断が重要です。当センターでは画像診断部と連携し、診察当日の画像診断を実現。その日のうちに患者さんに診断内容をお伝えすることで安心いただき、速やかに治療に移ることができます。さらに、手術は全身麻酔が必要となるため麻酔科と協力。術後の管理は看護部やリハビリセンターと連携するなど、総合病院ならではの体制で患者さんを見守ります。



脊椎・脊髄疾患センターのご案内

■ 診療時間／火・木・土曜日 9:00～12:00 ■ お問い合わせ先／☎0566-97-8111 (代)

脊椎・脊髄疾患の悩みに応える 地域の拠点として活動

脳神経外科医として、脊椎・脊髄疾患の外科治療を専門に行い
この分野のスペシャリストとして知られる庄田基医師。

当院では脊椎・脊髄疾患センター長として、診断・治療にあたるほか、
後進の育成にも力を入れていきます。

地域の拠点としての役割が期待されるセンターの取り組みや
治療にける想いについてうかがいました。



八千代病院 脊椎・脊髄疾患センター長
庄田 基 医師

先進の治療技術を取り入れ、最善の治療を届ける

社会の高齢化にともない脊椎・脊髄疾患に苦しむ患者さんは、年々、増加しています。しかしながら、脊椎・脊髄疾患を専門に扱う医師は全国的に少なく、この地域においても、こうした医療ニーズにどう応えるかが課題となっていました。そこで、脊椎・脊髄疾患センターでは、地域の先駆けとなる拠点として先進の治療技術を取り入れ、脊椎・脊髄疾患の診断や治療に悩んでいる患者さんに、適切な治療法で応えていきます。

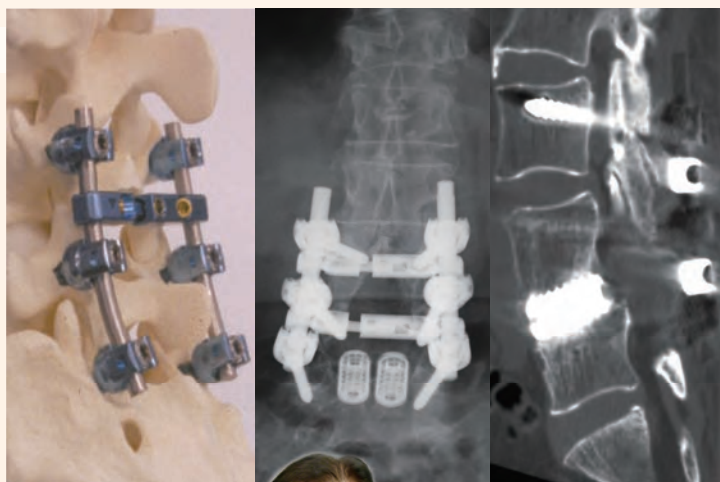
こうした治療において私が大切にしているのは、患者

さんにとって一番良い治療法を選択することです。手術直後の経過が良くても、患者さんの人生はその後10年、20年と続きます。だからこそ、術後20年経過した患者さんの状態をデータとして保存するなど、目先のことだけではなく、長い人生を考えて最適な治療法を提案したいと心がけています。

患者さんにも疾患や治療法について知っていただき、ぜひ、ご自分に合った治療法を選択していただきたいと願っています。

次の認定医・指導医となる、後進を育成する

最近が高齢の患者さんの手術が増えています。多くの患者さんが痛みから解放され、自立した生活を送りたいと考え、手術を選択するためです。複数の病気を抱えている方の手術は難しいものになります。今後はこうしたニーズの急増が予想され、専門的で高度な技術を持った次の専門医を育てることが必要です。そこで、私は指導医として後進の教育にも力を注ぎたいと考えています。人材を育てることで、地域の脊椎・脊髄疾患の治療技術のレベルアップを目指していきます。



腰椎すべり症固定術

Doctor's
Introduction
NEUROSURGERY

Profile

Dr. Motoi SHODA

しょうだ もと

プロフィール

庄田 基 医師



脊椎・脊髄外科のスペシャリストとして、およそ20年間で約3,000例という手術を実施。脊椎・脊髄疾患に幅広く対応し、日本脊髄外科学会指導医としても活躍しています。

<所属学会>

日本脳神経外科学会(評議員・専門医)
日本脊髄外科学会(理事・指導医)

第9回

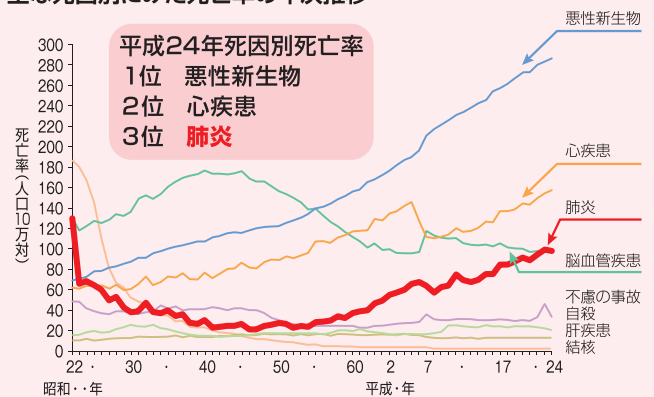
高齢者の肺炎

このコーナーでは、いま気になる症状・病気の基礎知識から最新の治療法まで、旬の医療情報をわかりやすくお伝えしていきます。

冬の乾燥シーズンになると流行り出す呼吸器感染症。近年は風邪やインフルエンザだけでなく、肺炎の流行が目立つようになりました。また、肺炎による死亡数・死亡率が増加しているという状況も見逃せません。今回の病気のはなしは、罹患すると重症化しやすいため特に注意が必要な、「高齢者の肺炎」について解説します。

●近年、肺炎による死亡者が増加傾向に。その理由は？

主な死因別にみた死亡率の年次推移



厚生労働省「平成24年 人口動態統計月報年計(概数)の概況」より

明治から昭和の初期まで肺炎は日本人の死亡率1位を占める疾患でしたが、医学が進歩し、新しい抗菌薬が開発されたことなどによりその数は激減。ところが近年再び増加傾向を示すようになり、平成23年には脳血管疾患に代わり死亡率3位に浮上しました。

その背景にあるのが急速に進む人口の高齢化です。実は肺炎で亡くなる人の95%を65歳以上の高齢者が占め、その死亡率は年齢とともに高くなっているのです。

●高齢者の生命を脅かす肺炎。症状に乏しく、発見が遅れることも

一般的には肺炎は適切な治療をすれば命を落とすほど重症化はしません。しかし、高齢者では時として命を脅かすほどの重症になってしまうのはなぜでしょう？

高齢者の肺炎には下記のような特徴があります。肺炎といえば「高熱・咳・痰」をまっ先に思い浮かべる人も

多いと思いますが、高齢者の場合は典型的な症状(※)が表れず、元気がない、食欲がないといった症状のみが前面に出る場合があります。発見・治療の遅れから重症化を招きやすいのです。



高齢者の肺炎の特徴

○基礎疾患をもっている場合が多く、免疫力、体力が低下している

肺炎にかかりやすい
重症化しやすい

○老化により生理機能が低下しており、肺炎の典型的な症状に乏しい

発見が遅れがち

○嚥下・咳反射の機能低下による誤嚥が関与しているケースが多い

難治化・再発しやすい

※典型的な肺炎の症状

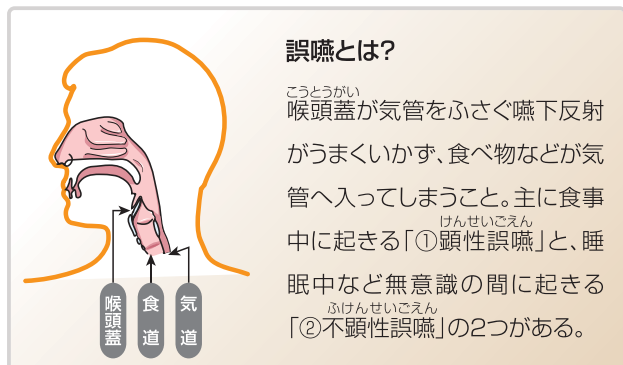
発熱、悪寒、咳、痰、息切れ、呼吸困難、胸痛、脱水症状、頻脈 など

こんな症状が肺炎のサインのことも!

食欲不振、元気がない(活動性低下)、倦怠感、失禁、食事が飲み込みにくい

●高齢者肺炎の大半を占める誤嚥性肺炎とは？

肺炎は細菌やウイルスなどが肺に入り炎症を起こすことで発症しますが、高齢者が発症しやすい理由のひとつに「誤嚥」の存在があります。70歳以上の肺炎入院患者では、実に8割に誤嚥が認められるというデータもあります。



誤嚥を招く要因

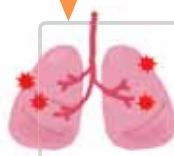
脳血管疾患や神経筋疾患、加齢、薬の副作用などにより嚥下・咳反射の機能が低下

①顕性誤嚥

通常食道へ行くべき食べ物や飲み物が、誤って気管に入ってしまう。

②不顕性誤嚥

鼻腔、咽頭、歯周等の細菌や異物を含む分泌物が無意識のうちに気管に入ってしまう。



誤嚥性肺炎

口の中の食べかすや細菌が誤って気管から肺に入り(誤嚥)、炎症を起こす。

●高齢者の肺炎予防に、ワクチンの接種を

高齢者の肺炎予防策としては、右表に示す方法が有効です。特に肺炎の発症リスクが高く重症化しやすい疾患(脳血管疾患、糖尿病、腎不全、心疾患、肝疾患、呼吸器疾患など)のある方には、肺炎球菌およびインフルエンザのワクチン接種をお勧めします。

肺炎を引き起こす病原体にはさまざまありますが、最も多いのが肺炎球菌です。また、肺炎はインフルエンザ罹患後に発症しやすいため、肺炎球菌とインフルエンザのワクチンを併せて接種することで肺炎の発症・重症化を防ぐ効果が期待できます。

インフルエンザワクチンは年1回、肺炎球菌ワクチンは1回の接種で5年間効果が持続します。当院で接種を行っていますので、希望される方はご相談ください。

高齢者の肺炎予防策

原因となる細菌が肺に入るリスクを減らす

- 口腔ケア**(誤嚥があっても肺炎を発症させないよう細菌を減らす)
 - ▶うがい、食後/就寝前の歯磨き
 - ▶歯周病/虫歯の治療、入れ歯の手入れ
- 嚥下リハビリ**(誤嚥を防ぐ)

細菌に対する免疫力を高める

- 肺炎球菌ワクチンの接種**(約90種ある肺炎球菌の型のうち主要な23種に対し免疫をつける)
- インフルエンザワクチンの接種**(インフルエンザ罹患後の二次感染を防ぐ)
- 基礎疾患の治療/管理**

【本疾患に関連する診療科】

肺炎の症状・疑いのある方は ⇒呼吸器内科へ

当院の呼吸器内科では、以下のような肺疾患の診断と治療を行っています。

- 気管支喘息 ○急性肺炎などの感染症 ○肺がん
- 慢性閉塞性肺疾患(COPD) ○睡眠時無呼吸症候群
- 肺気腫、肺結核後遺症などによる在宅酸素療法

■**診療日時**: 毎週火・金曜日/ 清水 康男 医師
毎週木曜日/ 吉武 姿子 医師
第2・4・5土曜日/ 輪番により異なります

■**診療受付時間**: 8:15~12:00

※禁煙外来、予防接種(インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンなど)も実施

誤嚥のある肺炎患者さんは、抗菌薬により症状が改善しても、嚥下機能が改善しないため肺炎を再発しやすい傾向にあります。原因にアプローチし、再発のリスクを下げるために、当院では肺炎による入院患者さんに対する嚥下の評価を行い、リハビリテーション科と連携して嚥下リハビリに取り組んでいます。また基礎疾患がある患者さんについては、他科と連携しながら治療を進めています。肺疾患でお困りのことがありましたら、八千代病院呼吸器内科に、どうぞご相談ください。

呼吸器内科部長
清水 康男 医師



ご存知ですか？「健康寿命」

みなさんは「健康寿命」という言葉を知っていますか？ 健康寿命とは、「病気やケガなどの健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のことを言います。

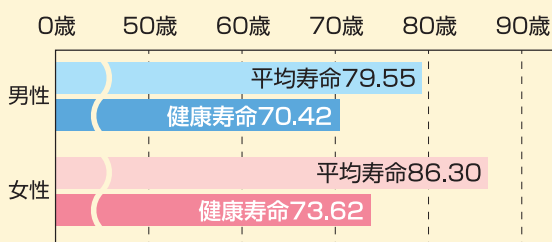
厚生労働省が発表した2010年の統計によると、日本人の健康寿命は男性で70.42歳、女性で73.62歳。一方、平均寿命は男性79.55歳、女性86.30歳で、その差は男性9.13歳、女性12.68歳となっています。

平均寿命と健康寿命の差、つまり不健康な期間が長くなることは、個人や家族のQOL（生活

の質）を低下させるだけでなく、医療費や介護費の増大にもつながるため対策が望まれます。

健康寿命は高齢期だけの健康問題ではありません。健康寿命を縮める脳卒中や心疾患などの生活習慣病を未然に防ぐには、若いころからメタボリックシンドロームなどの対策・改善が必要です。当院では、地域の皆さんの健康づくりを支援するため市民講座や各種教室を開催しています。健康寿命を延ばし、健やかで自立した生活を一日でも長く送れるように、こうした教室をぜひご活用ください。

●日本人の平均寿命と健康寿命の差(2010年)



資料：平均寿命(平成22年)は、厚生労働省「平成22年完全生命表」、健康寿命(平成22年)は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

●健康寿命の上位3県

男性	(歳)	女性	(歳)
愛知	71.74	静岡	75.32
静岡	71.68	群馬	75.27
千葉	71.62	愛知	74.93

意外にも、愛知県は「健康長寿県」!

旬 菜 健 美

旬の食材を使ってつくる健康レシピ。
おいしく食べて健康美人に。
レシピ考案・八千代病院栄養科

今号の食材

「鯛」

Snapper



今回は、当院の産婦人科で提供している「お祝い膳」の中から人気ナンバーワンの料理をご紹介します。卒業、入学、就職……これからのお祝いシーズンに、ぜひお試しください。

お祝いの食卓に華を添える 真鯛の香草オリーブオイル焼き

■材料(1尾分)

鯛	1尾
ミニトマト	10個
赤・黄パプリカ	各½個
玉ねぎ	½個
ズッキーニ	½本
マッシュルーム	5個
ローズマリー(生)	詰め物用1枝+飾り用1枝
イタリアンハーブミックス	適量
オリーブ油	適量
塩・こしょう	適量

SHUN・SAI・KEN・BI



*エネルギー510kcal(1尾分)

■作り方

- ①パプリカ、玉ねぎは1cm幅に切る。ズッキーニは1cmの輪切り、マッシュルームは半分に切る。ローズマリーは飾り用の1枝をオリーブ油に浸しておく。
- ②鯛は内臓を取り除き腹の中をしっかりと洗い流し、熱湯をかけて臭みをとる。
- ③天板にミニトマトと①の野菜を敷きつめて、オリーブ油と塩・こしょうを全体にふる。
- ④鯛の皮目に切り込みを入れ腹の中にローズマリーを詰めたら、天板にのせて塩、イタリアンハーブミックスをかける。
- ⑥180度のオーブンで約15分焼く。焼き上がり5分前に飾り用のローズマリーを鯛の上に置いて焼き上げる。

安城市 市民公開講座

8人に1人は腎臓病 ～知ろう!守ろう! あなたの腎臓～

市民の皆さんに腎臓病について知っていただくため、講演会を開催します。当院腎臓内科の深津敦司医師が総合司会を務めます。多くの皆様の参加をお待ちしています。

■会 場：安城市文化センター マツバホール

■日 時：2014年3月15日(土)

開場／14:00～ 開演／14:15～

■お問い合わせ先：安城市民公開講座事務局

(アステラス製薬㈱ 岡崎営業所内)TEL0564-65-7506

申込不要
参加費無料
先着
300
名様

当日、腎臓病についてお聞きになりたいことが、ございましたら
H26年2月28日までに、下記の
事務局までファックスまたは電話で
お知らせください。

安城市民公開講座事務局

FAX 0564-22-3615

TEL 0564-65-7506

(アステラス製薬)

あなたの疑問に
お答えします!



講演①

「あなたの腎臓を守るための日常生活習慣について」

愛知県厚生連 安城更生病院 腎臓内科代表部長
兼 血液浄化センター長 玉井 宏史 先生

講演②

「もし腎臓が働かなくなったら 腎代替療法とは? 透析、移植」

アイエムクリニック・安城 院長
京都府立医科大学 客員講師 岡本 雅彦 先生

講演③

「こんなに多い腎臓病、あなたは大丈夫?」

誰でもわかる腎臓病の予防と治療の話
名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 教授 松尾 清一 先生

開会のあいさつ 安城市医師会 学術理事 野々川内科 院長 野々川 信 先生

総合司会 社会医療法人 財団新和会 八千代病院 院長補佐 深津 敦司

慢性腎臓病
予防を啓発する
「そらめくん」



糖 尿 病 教 室

糖尿病患者さんご家族を対象とした教室です。糖尿病についての知識を深め、ご自身でケアを行えるように生活習慣や食事の改善法などを楽しく学びます。定員制ですので、参加を希望される方は事前にお申し込みください。

■会 場：当院1階 内科待合11番診察室前

■申 込 締 切：開催日の3日前

■申 込 方 法：内科外来窓口で直接お申し込み、またはお電話

[受付時間]月～金曜日／8:30～12:00 TEL.0566-97-8111 (内科外来:内線938)

参加費
無 料
先着
30
名様

平成25年度後期糖尿病教室 開催スケジュール

開催日時	講義テーマ／栄養指導	講 師
2月8日(土) 14:00～15:30	専門医による血糖管理の“タメ”になるお話し	内分泌代謝内科部長 藤井 徹
	すぐ実践! お食事ワンポイントレッスン	管理栄養士
3月8日(土) 14:00～15:30	この検査、どんな意味?	臨床検査技師
	災害準備できていますか? いつおきても大丈夫な災害対策	看護師
	備えて安心! 災害時のお食事	管理栄養士

※内容は諸事情により変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

病院増築工事にともない第2・第3駐車場を整備

平成25年5月から行っている増築工事にともない、病院敷地内駐車場が一部利用できなくなり、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。この間の

**平成25年5月13日～
平成26年4月30日まで**
上記期間中は、病院増築工事のため
北西駐車場出入口・西駐車場出入口、
及び病院西出入口が利用できません。

駐車場のスペース
不足を補うため下
図の通り第2・第3
駐車場を設けまし

た。敷地内駐車場が満車の場合はご利用ください。

なお、病院南側の市営駐車場につきましても、3時間まで無料でご利用いただけますので、併せてご利用ください。

工事期間中、皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。



※病院敷地内駐車場、および第2・3駐車場(当院患者様専用)は利用無料。

市営駐車場をご利用の場合は、当日診療の患者さんに限り
3時間まで駐車料金を無料とさせていただきます。

駐車券を1階会計窓口横の
機械に投入してください。



平成26年5月増築オープン

八千代病院新病棟増築100床増床・健診センター・画像センター拡充につき



当院の特色、教育体制から暮らしのサポートまで、
詳しい情報をご覧ください。

for Your Smiles

八千代病院看護部ウェブサイト

www.yachiyo-hosp.or.jp/nurse/

看護師・助産師・保健師・薬剤師
診療放射線技師

職員募集 (正職員・パート)

お問い合わせ先:

TEL. 0566-97-8111 (代) 人事担当まで

新任医師紹介

NEW FACES

当院に新たに 着任した医師をご紹介します



脊椎・脊髄疾患センター長
庄田 基(しょうだ もとひ)

平成26年1月1日着任

2014年1月より八千代病院脊椎・脊髄疾患センター長として勤務しています。脳神経外科医ですが脊椎・脊髄疾患の治療特に手術を専門に行っ

ています。顕微鏡を用いた神経にやさしい手術を行っております。手のしびれや痛み、腰痛、下肢痛や歩行障害があればご相談ください。脳神経外科的にも診察させていただきます。

所属学会:

日本脳神経外科学会(評議員・専門医)

日本脊髄外科学会(理事・指導医)

八千代病院 ホームページ www.yachiyo-hosp.or.jp

当院の診療科・専門医療センターのご紹介、各科からのお知らせなど最新情報を掲載しています。また本誌『やちよだより』のバックナンバーも閲覧できますので、ぜひご覧ください。



Topics 安城市長が増築工事の進捗状況を視察

平成25年12月25日、神谷学安城市長が当院を訪れ、新病棟増築工事の進捗状況を視察しました。

昨年6月1日より実質着工した当院の増築工事は、鉄骨建て方も終わり年末には約6割が完了しました。現在は4月26日の竣工式に向かって内外装に本格的に取り組んでいます。



工事現場を視察する神谷学安城市長

病院理念／ 最善の医療を提供する

- 基本方針／
- 1) 患者本位の医療
 - 2) 地域中心の医療
 - 3) 安全先進の医療

目 標／ 私たちは、クオリティホスピタルを目指します。
※クオリティホスピタルとは、志の高い病院・質の高い病院・満足度の高い病院です。

モットー／ 親切 親和 信念

編集後記

脊椎・脊髄疾患の多くは加齢にともなう変性疾患であり、誰もが患者となり得ます。高齢化が進むにつれ、この地域でも患者さんは加速度的に増加するでしょう。この度の脊椎・脊髄疾患センターの新設は、こうした地域の医療ニーズにいち早くお応えしたものです。脊椎・脊髄疾患の診療拠点として、地域の皆様に信頼の医療を提供してまいります。(編集部)

やちよだより

2014 Vol.35

発行日／平成26年(2014年)1月20日発行
編 集／八千代病院 新聞・広報委員会
社会医療法人 財団新和会 八千代病院

発行人／八千代病院 院長 弥政晋輔
制 作／八千代病院 広報係
〒446-8510 安城市住吉町2-2-7

編集長／米山明彦(内科)
印 刷／株式会社 光陽社
TEL:0566-97-8111(代)

2014.1.2000